

信州型コミュニティスクール

北信地区活動だより

NO. 20 (令和4年1月) 北信教育事務所生涯学習課 文責：指導主事 岡田 絵美

昨年から続くコロナ禍の中で「直接会うことが難しく、交流活動が停滞してしまう」という悩みを抱えている学校が多くなっています。一方で、オンラインを使用する機会が増えてきている状況があります。20号では、オンラインの良さを活かして交流活動に繋げた事例をご紹介します。

屋代小



「シニア大学『Zoomチャレンジ倶楽部』とのオンライン交流活動」

千曲市立屋代小学校2年生では、コロナ禍でも交流活動ができる方法を探っていました。そこで、以前からつながりのあった、長野県長寿社会開発センター長野支部のコーディネーターと相談して実現したのがこの活動です。交流相手の「Zoomチャレンジ倶楽部」(以下ズムチャレ)には、シニア大学の在校生やOB等、60~70代の方々が参加しています。コロナ禍で繋がりが減っている中でZoomの基本操作を学び、学びを活用してメンバーと交流することを目的としています。

コロナ禍により交流機会がなかなかつくれずにいた小学校と、学んだZoomの技術を活用しながら交流の幅を広げたいシニア、どちらにとっても素敵な活動になることを願い、本活動が始まりました。

II オンラインでの初めての交流

交流は、2年生2クラスが行います。この日は、竹組さんの初めての交流活動でした。画面にシニアの方々の顔が映ると子ども達の表情がぱっと明るくなりました。自己紹介では、シニアの皆さんが、自分の好きな果物と名前を紹介する度に、子ども達は笑ったり、拍手をしたり「同じだ!」とつぶやいたり、楽しそうな雰囲気です。クイズの場面では、難しい問題に、子ども達もシニアの皆さんも一喜一憂していました。シニアの方が正解すると思わず子ども達が拍手する場面も見られ、画面越しでもつながりを感じられている様子が見られました。

こいでも、こいでも、おなじところを行ったり来たりするものはなんでしょう。(シニアの人分かるかな?のつぶやき)



ズムチャレの皆さんは紙に答えを書きます
「ブランクですか?」

正解!!
シニアの人、超すげーじゃん!!



ポイント「何を事前に打ち合わせしましたか?」

活動を計画した、屋代小学校の末廣先生・中村先生と、長寿社会開発センターの斉藤コーディネーターさんに、打合せの内容についてお聞きしました。

最初に、この活動で、**お互いに何を狙っていたのか**を話しました。シニアの皆さんが求めること、子ども達がどうなると良いのかを、お互いに確認できたので、何をすれば良いのかが具体的に決まり、準備する事ができました。



【末廣先生・中村先生】

そうですね。**目指す方向が決まると、やりたいこと、準備することが見えるので、目的をはっきりさせることが一番大事**かもしれません。他には、シニアの方が今どんなことができるのか、子ども達がどんなことをしているのか、今の状況について情報交換しました。**活動主体となる子ども達やシニアの皆さんの現状を知ることが必要**だと思います。



はい。シニアの皆さんの様子を子ども達に伝えることで、子ども達も相手意識をもって活動できたのではないかと思います。

活動へのねがい・成果・今後の展望

【末廣・中村先生】

①何を願って活動を計画しましたか？

【斉藤コーディネーター】

2年生は入学からコロナ禍での生活で、ふれあいの機会がとても少ないことが気になっていました。だから、人と接する体験をし、関わることの良さや楽しさを味わってほしいと願いました。

コロナ禍で場が失われ、目標となる活動がなくなっていったシニアの皆さんが、学んだ事（趣味や特技等）を発表できる場としたい、また学んだオンラインスキルを生かして社会参加ができれば、と考えていました。

②実際に活動してみて、どのような良さがありましたか？

画面で顔が見えて繋がることができたことで、相手を意識した活動ができました。子ども達はとても楽しんでいましたし、また会いたいと意欲を高めています。

オンラインを通して実施できたことで、コロナ禍でも自宅にいながら、距離や世代を超えて交流ができました。感動して涙する参加者もいました。

③良さを生み出したのは、どんなしかけや工夫があったからだと思いますか？

一人一台端末の環境が整ったことは大きかったです。校内の他の活動でも相手が楽しむにはどうしたら良いのかを意識してきました。子ども達は今回、シニアの皆さんを意識し、必要感を感じて活動できていました

事前の打ち合わせで、この活動で何を指すのかを学校と共有しました。やりたいことがはっきりしていたので参加者一人一人が個人として参加できる場面を作ることができたのかなと思います。

④今後の展望は？

オンラインで意欲も高まっていますし、実際に会えると嬉しいですね。子ども達の生活圏でも地域の方と顔が見える関係を築き、人との温かい交流を通して地域を好きになってほしいです。

より個人の顔が見え、名前が呼び合えるほど関係が深まるといいですね。リアルとオンラインをうまく組み合わせることによって、新たなつながりづくりができるかもしれませんね。

- ・シニアのみなさんが毎日元気にしていることが分かってよかったです。
- ・みなさんがすごくやさしかったから、またやりたいです。

【子ども達の声】



【シニアの方の声】

・子ども達のパワー、勢いにビックリ。日頃感じられない感覚がありました。自分の中の普段気づかない温かな気持ちを子ども達に引き出してもらい、嬉しかったです。

「～コミュニティスクールの充実に向けて～ 経験豊かなシニアの皆さんとの活動を計画してみませんか」

今回ご紹介した「ズムチャレ」をはじめとして、シニアの皆さんが明るく豊かに社会参加していくためのネットワークや活動の基盤づくりを行っているのが、「公益財団法人 長野県長寿社会開発センター」です。センターでは、学びを生かした社会参加などのコーディネートも行っています。

○交流活動 ○昔の遊び ○休み時間交流 ○… といった活動を共に創り上げていきませんか。

【問い合わせ先】

◎長野支部（長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町、小川村）

〒380-0936 長野市大字中御所岡田98-1（長野保健福祉事務所）

026-228-7023 担当：斉藤コーディネーターさん

◎北信支部（中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村）

〒389-2255 飯山市大字静間1340-1（北信保健福祉事務所）

0269-62-3725 担当：松永コーディネーターさん

お気軽にお問い合わせください

地域とともにある学校づくりの充実に向けて、学校や地域に出向いての信州型CSの基礎研修や実践事例の紹介などをします。お気軽に連絡していただけたいと思います。

■■お問い合わせ先■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1 担当：岡田
Tel：026-234-9552 E-mail：hokushinky@pref.nagano.lg.jp